

マンジャロに関するご案内

1. マンジャロの基本的性質

マンジャロ(セマグルチド)は、2型糖尿病の治療に用いられる GLP-1 受容体作動薬で、インスリンの分泌を促進することで血糖コントロールをサポートします。また、食欲抑制作用を持ち、体重減少にも寄与するため、糖尿病患者の体重管理においても効果があります。

2. マンジャロの使用方法・用法要領

- ・マンジャロは、週に1回、皮下注射として投与します。
- ・使用タイミングは1日のうちいつでも良いです(固定すると良いでしょう)。
- ・食事に関係なく投与できます。
- ・使用部位は腹部、大腿部、上腕部などが一般的ですが、注射部位を毎回変更することをお勧めします。

-1. 準備物

- マンジャロの注射薬
- アルコール綿(消毒用)
- 注射器またはペン型デバイス用針

-2. 使用前の準備

1. 手を洗う

使用前に手を十分に洗ってください。

2. マンジャロの確認

アテオス(「当てて、押す」という由来)を確認し、内容物に異常がないことを確かめます(色が濁っていたり、異物が入っていないこと)。

3. 注射器やペンの準備

使用する注射器やペンに関しては、医師や薬剤師から事前に説明がありますので、それに従ってください。

-3. 注射部位の選定

マンジャロは皮下注射であり、注射部位は以下の場所に行います：

- 腹部(おへその周りを避け、左右に2~3cm離れた部位)
- 大腿部(太ももの前面部分)
- 上腕部(肩の外側)

注射部位は毎回異なる部位にすることが推奨されます。

-4. 注射手順

1. 注射部位の消毒

- 使用する部位(腹部、大腿部、上腕部など)をアルコール綿でしっかりと消毒します。

2. 針の挿入

- 針を皮膚に垂直に挿入します。深さは通常 1~2cm 程度です。

3. 薬剤の注入

- 指定された量を注入します。注入後、数秒間待機してから針を抜いてください。

4. 針を取り外す

- 注射後、針を取り外し、使い終わった針は安全な方法で廃棄してください。
- しっかり蓋のできる固い容器(牛乳パックや薬のから容器など)に入れ、さらにゴミ袋に入れて廃棄してください(日本糖尿病学会作成の廃棄物適正処理啓発パンフレット参照)。

3. マンジャロの基本的注意事項

- **注射部位:** 同じ部位に繰り返し注射しないよう注意し、ローテーションを心がけましょう。
- **冷蔵保存:** 使用するまでは冷蔵庫(2~8℃)に保存してください。冷蔵庫から取り出してすぐ使用可能です。
- **体調の変化:** 使用後に体調の変化(吐き気、胃の不快感など)が生じることがあります。無理に投薬を続けず、異常を感じた場合は医師に相談してください。
- **食事制限:** 食事の管理が重要です。過度な食事制限や食事の偏りは、血糖コントロールに悪影響を及ぼす可能性があります。
- **投与を忘れた場合:** 投与を忘れた場合は、次回投与までの期間が3日間(72時間)以上であれば、気づいた時点で直ちに投与し、その後はあらかじめ定めた曜日に投与するようにしてください。次回投与までの期間が3日間(72時間)未満であれば投与せず、次のあらかじめ定めた曜日に投与してください。
- **よくある副作用:** 吐き気、嘔吐、下痢などの胃腸症状があらわれることがあります。
- **低血糖を起こす場合がある:** 高所の作業や自動車の運転には十分注意してください。
- **十分痩せた場合には:** BMI<23での安全性・有効性は確認されていません。十分痩せたから投与を終了しましょう。
- **急性膵炎:** 急性膵炎を生じることがあるので、激しい腹痛が生じた際には使用を中止して、速やかに医療機関を受診してください。

4. 絶対的禁忌事項: 下記に該当する方は投与を中止して医師に相談してください。

- **アレルギー反応:** マンジャロの成分に対して過敏症を持つ方には使用できません。
- **1型糖尿病の患者:** 1型糖尿病の患者様には適応がありませんので、ご注意ください。

5. 相対的禁忌事項: 下記に該当する方は投与を中止して医師に相談してください。

- **重度の腎機能障害:** 腎臓の機能が著しく低下している場合には使用を避けるべきです。使用を検討する場合は、医師と十分に相談してください。
- **消化器疾患の既往:** 胃腸のトラブルや疾患を持つ方は、慎重に使用する必要があります。医師にご相談の上、使用を決定してください。

6. 併用注意薬剤: 下記薬剤を使用中の方は投与を中止して医師に相談してください。

- **他の糖尿病治療薬:** 低血糖に注意してください。これらの併用は一般的に行わないでください。
- **経口避妊薬:** 特に投与開始初期又は漸増後初期では併用する経口避妊薬の効果を減弱させるおそれがあります。
- **ワーファリン:** ワーファリンの効果を増大させる可能性があります。

7. どういった時に医療機関に相談するべきか

上記3の基本的注意事項に加え、以下の症状が現れた場合には、速やかに医療機関にご相談ください。

- 異常な腹痛や吐き気が続く
- 急激な体重減少
- 血糖値の異常(低血糖または高血糖の症状)
- アレルギー反応(皮膚の発疹、かゆみ、呼吸困難)

8. 自由診療における注意事項

自由診療において生じた副作用の場合、医薬品副作用被害救済制度の適用外となりうる場合があります。また、適応外使用での処方のため、一般に知られていない副作用が生じる場合があります。その際の副作用・有害事象など患者様の不利益に関して、当院では治療方針の説明および必要な初期対応を行います。それ以上の責任は負いかねます。

9. 同意事項

本治療を受けるにあたっては、事前に十分な説明を受けたことを理解し、本文書が添付されたメールでの返信をもって同意をいただいたものとみなし、自己責任で治療を受けることに同意するものとします。メール返信にて同意された場合、本同意事項に基づく治療を開始いたします。万が一、ご不明な点や疑問点がございましたら、返信前に必ず医師または医療スタッフにお問い合わせください。

アテオスの使い方

アテオスは針の取り付け、薬を混ぜるなど準備が不要で、すぐに使うことができます。操作は3つのステップです。

(使い方の詳細は、取扱説明書をご覧ください。また、わからないことがあれば、主治医もしくは裏表紙の連絡先まで お問い合わせください。)

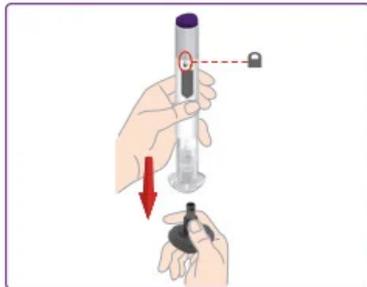
お使いいただく前に

緑色の目印  がロック  の位置にあることを確認してください。

 このときはまだ、ロックを解除しないでください。

ロック 

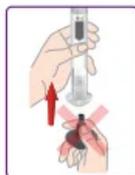
1 灰色のキャップをはずす



- 灰色のキャップをまっすぐ引っ張って、取り外します。

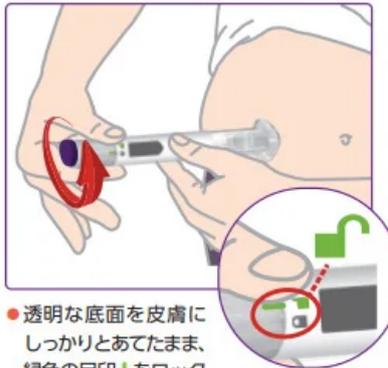
 キャップは使う直前まで取り外さないでください。

 取り外したキャップはすぐに捨ててください。はめ直すと針が破損することがあります。



はめ直さない

2 底面を皮膚にあて、ロックを解除



- 透明な底面を皮膚にしっかりとあてたま、緑色の目印  をロック解除  の方向に止まるまで回し、ロックを解除します。

 皮膚に対してアテオスを垂直にすると、しっかりあてることができます。

 ペンの中央部を強くつままないでください。針が戻らなくなるおそれがあります。

3 注入ボタンをおす そのまま待つ



- 紫色の注入ボタンを押し、そのまま待ちます。以下の音を聞いてください。
 - ▶ 1回目のカチッという音で注射が開始します。
 - ▶ 2回目のカチッという音で注射完了です。
- 薬液の注入は、長くても10秒以内に完了します。

 カチッという音が聞こえなかったときは、透明な部分に灰色のゴムピストンが見えていれば、薬液の注入は完了しています。



改訂：2025/01/23

池川内科・神経内科 オンライン診療部門